

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
選択科目	2 単位	ロジカルシンキング	岩田 雅明	1 年次	春

授業のキーワード	論理的に考える力、社会常識
授業の概要	論理的に考える力を、身近なケースを考える中で養成します。加えて、社会人としての常識についても学びます。グループワークと発表という形を中心に進めていきます。
期待される学習成果（目標）	1.課題に対してどのように考えたらいいのが分かるようになります。 2.考える習慣が身に付きます。 3.社会人としての常識が身に付きます。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	オリエンテーション	自己紹介、課題の共有、講義の進め方、グループ編成を行います。	第 9 講	ゼロベースで考える	これまで当たり前に行われていることを疑って考えてみましょう。
第 2 講	大学祭の集客を考える①	現状の課題認識とゴールの設定を行います。	第 10 講	PDCA サイクルを考える	PDCA サイクル活用で恋愛を成功させます。
第 3 講	大学祭の集客を考える②	SWOT 分析を使って考えます。	第 11 講	発想を広げる	チェックリストやマンダラートで発想を広げましょう。
第 4 講	大学祭の集客を考える③	MECE を使って考える。	第 12 講	仮説思考	日本の少子化をどのようにしたら止められるのかを考えます。
第 5 講	大学祭の集客を考える④	①から③で考えたことを基に、大学祭の準備プランをつくる。	第 13 講	重要ポイントを把握する	病院経営をテーマに、何が重要なポイントなのかを考えます。
第 6 講	聖歌隊のメンバーを増やすためには①	人間の行動するプロセスを考えます。	第 14 講	短大生活を有意義に過ごすためには①	目標設定や、これまでに学んだことを活用して、短大生活を有意義にするための方策を考えます。
第 7 講	聖歌隊のメンバーを増やすためには②	メリットとデメリット、それをどう伝えるかを考えます。	第 15 講	短大生活を有意義に過ごすためには②	前回の講義で考えた方策を発表してもらい、全体で討議していきます。
第 8 講	中間の振り返り	これまでの学びを各自に発表してもらいます。またグループも再編成します。	定期試験		講義内容に関するレポートを提出してもらいます。
評価方法		授業への参加状況 30%、レポートの内容 70%で評価します。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
教科書は使いません。必要な資料は適宜、配布します。					